

持続可能社会と日本語教育

—長期的なビジョンに立った大学の日本語教育を考える—

2017年12月に実施する「日本語・日本文化研修」のため、本学と大学間交流協定を締結しているロシアの6大学および協力関係にあるトイバ国立大学から、日本語教育・日本研究にかかわる教職員および学生（大学院進学希望者）を招聘する。これにあわせて、ロシアの各大学で日本語教育に携わる専門家とともに、日ロ関係の発展に欠かせない日本語教育について「持続可能社会」をキーワードとして今後の課題や長期的展望を探る。



●基調講演

柴原 智代 氏（国際交流基金日本語国際センター 教材開発チーム）

●発表者（敬称略、発表順）

Krnetá Natalia（モスクワ国立大学准教授）

Fedianina Vladlena（モスクワ市立教育大学日本語学科長）

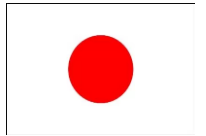
Filippov Aleksandr（サンクトペテルブルグ国立大学日本語講師）

Khaliullina Alina（カザン連邦大学日本語学習センター講師）

Simonova Elena（ノボシビルスク国立大学日本語専任講師）

Sanina Kseniia（極東連邦大学准教授）

Artyna Mira（トイバ国立大学講師）



日時： 12月6日（水） 15:30~18:00

（対象：日本語・日本文化研修参加者、筑波大学職員、学生、日本語教育・日本語研究関係者／申込不要，無料。学外からの参加可。）

会場： 筑波大学 大学会館

歓迎レセプション： 18:30~

（申込制 一般3,000円/学生1000円 参加希望者は11月24日（金）までに下記メールアドレスへ氏名・所属をご連絡ください）

主催：筑波大学 大学の世界展開力強化事業（ロシア）「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(Ge-NIS)」、筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)

協力：筑波大学人文社会国際比較研究機構、筑波大学社会国際学群・人文・文化学群、筑波大学地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP)

問合せ： TEL 029-853-4251 MAIL info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp（担当 松下）

Web <http://genis.jinsha.tsukuba.ac.jp/>